

平成 26 年 11 月 11 日  
内 閣 府  
原 子 力 政 策 担 当 室

## 第 15 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）の開催について （案）

平成 26 年 11 月 19 日（水）、オーストラリア・シドニーにて、第 15 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA<sup>※1</sup>）大臣級会合を開催します。

今次会合では、多目的研究炉の活用のための戦略等について議論をする予定です。

※1 我が国が主導するアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムであり、大臣級会合はアジアの参加国の原子力担当大臣クラスが、原子力技術の平和利用に関する地域協力のため、年 1 回政策対話を行うもの。  
（ウェブサイト：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）

1. 主 催 オーストラリア原子力科学技術機構（ANSTO）、  
内閣府、原子力委員会
2. 開 催 日 平成 26 年 11 月 19 日（水）  
（18 日（火）は上級行政官会合を開催（プレスオープンなし））
3. 開催場所 オーストラリア・シドニー  
「シドニー・ハーバー・マリオット・ホテル」
4. 参加予定国  
オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、  
韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

## アジア原子力協力フォーラム(FNCA) 第15回大臣級会合プログラム

平成 26 年 11 月 19 日 (水)

### セッション 1:開会セッション(9:30 - 10:10)

- 1) 開会・歓迎挨拶: 豪州
- 2) 共同議長挨拶: 日本
- 3) 参加者自己紹介
- 4) プログラム確認:
- 5) 上級行政官会合報告: 豪州

集合写真(10:10 - 10:20)

### セッション2:カントリーレポート(10:20 - 11:20)

- 1) 各国発表

### セッション3:FNCA 活動報告(11:35- 12:15)

- 1) FNCA プロジェクトの活動状況
- 2) 第6回「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」報告

### セッション4:円卓討議 - 多目的研究炉の活用のための戦略(13:45 - 15:00)

- 1) リード・スピーチ: 豪州、日本、インドネシア
- 2) 質疑応答

### セッション5:会合決議案の討議と採択(15:20 - 15:50)

- 1) 決議案の提示
- 2) 決議について討議及び採択

### セッション6:閉会セッション(15:50 - 16:10)

- 1) 次回開催国挨拶
- 2) 議長声明と閉会挨拶: 豪州

## 第 15 回アジア原子力協力フォーラム(FNCA) 大臣級会合 海外出席者一覧

- ① オーストラリア
  - 1) The Hon. Mr. Ian MACFARLANE (イアン・マクファーレン)  
オーストラリア産業省大臣
  - 2) Dr. Adrian (Adi) Paterson (エイドリアン・パターソン)  
オーストラリア原子力科学技術機構(ANSTO)会長
- ② バングラデシュ
  - 1) The Hon. Mr. Yeafesh OSMAN (イエフェシュ・オスマン)  
バングラデシュ科学技術省(MOST)大臣
  - 2) Mr. Md. Monirul ISLAM (モハメド・モニルル・イスラム)  
バングラデシュ原子力委員会(BAEC)委員長
- ③ 中国
  - 1) The Hon. Mr. WANG Yiren (ワン・イーレン)  
中国国家原子能機構(CAEA)副長官
  - 2) Mr. CHEN Wenjun (チェン・ウエンチュン)  
中国国家原子能機構(CAEA)国際部課長
- ④ インドネシア
  - 1) Dr. Djarot S. Wisnubroto (ジャロット・スリスティオ・ウィスヌブロット)  
インドネシア原子力庁(BATAN) 長官
  - 2) Dr. Anhar Riza ANTARIKSAWAN (アンハー・リザ・アンタリクサワン)  
インドネシア原子力庁(BATAN) 副長官
- ⑤ カザフスタン
  - 1) Dr. Erlan G. BATYRBKOV (エルラン・G・バティルベコフ)  
カザフスタン国立原子力研究所(NNC)総裁
- ⑥ 韓国
  - 1) The Hon. Mr. Hai-Joo MOON (ムン・ヘジュ)  
韓国未来創造科学部(MSIP) 宇宙原子力政策官
  - 2) Ms. Mia CHO (チョ・ミア)  
韓国未来創造科学部(MSIP) 宇宙原子力協力課課長補佐
- ⑦ マレーシア
  - 1) The Hon. Datuk Dr. Abu Bakar Mohammad Diah  
(アブ・バカル・モハンマド・ディア)  
マレーシア科学技術革新省(MOSTI) 副大臣

2) Dr. Muhd Noor Bin MUHD YUNUS (モハメド・ノール・ビン・モハメド・ユヌス)  
マレーシア原子力庁副長官 (研究・技術開発プログラム部門)

⑧ モンゴル

- 1) The Hon. Dr. UNURBAYAR Chadraabal (ウヌルバヤル・チャドラーバル)  
モンゴル大統領府人権・法政策大統領顧問
- 2) Mr. Norov TEGSHBAYAR (ノロヴ・テグシュバヤル)  
モンゴル原子力庁 (NEA) 長官

⑨ フィリピン

- 1) The Hon. Dr. Ameria P. Guevara (アメリア・P・グエバラ)  
フィリピン科学技術省 (DOST) 副大臣
- 2) Dr. Alumanda M. DELA ROSA (アルマンダ・M・デラ・ローサ)  
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 所長

⑩ タイ

- 1) The Hon. Dr. Somporn CHONGKUM (ソンポーン・チョンクム)  
タイ原子力技術研究所 (TINT) 所長
- 2) Ms. Kanchalika DECHATES (カンチャリカ・デチャテス)  
タイ原子力技術研究所 (TINT) 国際協力課長

⑪ ベトナム

- 1) The Hon. Dr. CAO Dinh Thanh (カオ・ディン・タン)  
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 副所長

## アジア原子力協力フォーラム (FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

### 1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的发展を促進することを目指す。

### 2. 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの全12か国

### 3. 経緯

平成2年から原子力委員会が主催し開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

(参考)「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。

#### 4. 枠組み

##### (1) 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

##### (開催実績)

開催日時・場所	主な議論のテーマ
第1回 平成12年11月 タイ	・原子力利用の推進 ・原子力安全 ・地域原子力協力の推進
第2回 平成13年11月 東京	・持続可能な発展と原子力 ・放射線利用分野における協力のあり方
第3回 平成14年10月 韓国	・人材養成戦略 ・持続可能な発展と原子力
第4回 平成15年12月 沖縄	・放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大 ・持続可能な発展と原子力エネルギー
第5回 平成16年12月 ベトナム	・アジアにおける原子力人材育成に関する協力 ・FNCAの今後のあり方
第6回 平成17年12月 東京	・アジアにおける原子力人材育成に関する協力 ・科学技術と原子力
第7回 平成18年11月 マレーシア	・アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割 ・原子力エネルギーの広報
第8回 平成19年12月 東京	・原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動 ・放射線利用を中心としたFNCA活動
第9回 平成20年11月 フィリピン	・原子力発電の基盤整備のための協力 ・放射線利用のさらなる促進のための協力
第10回 平成21年12月 東京	・原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力 ・放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力
第11回 平成22年11月 中国	・原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力 ・放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力
第12回 平成23年12月 東京	・基盤整備(人材養成と広報) ・放射線・アイソトープ応用促進のための協力
第13回 平成24年11月 インドネシア	・FNCAの役割
第14回 平成25年12月 東京	・FNCAプロジェクトの成果の活用 ・核セキュリティ文化の醸成

## (2) コーディネーターとコーディネーター会合

自国における FNCA プロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男原子力研究開発機構フェロー。

### (開催実績)

○第 1 回	コーディネーター会合	平成12年3月	東京
○第 2 回	コーディネーター会合	平成13年3月	東京
○第 3 回	コーディネーター会合	平成14年3月	東京
○第 4 回	コーディネーター会合	平成15年3月	沖縄
○第 5 回	コーディネーター会合	平成16年3月	東京
○第 6 回	コーディネーター会合	平成17年3月	東京
○第 7 回	コーディネーター会合	平成18年3月	東京
○第 8 回	コーディネーター会合	平成19年2月	東京
○第 9 回	コーディネーター会合	平成20年3月	東京
○第10回	コーディネーター会合	平成21年3月	東京
○第11回	コーディネーター会合	平成22年3月	東京
○第12回	コーディネーター会合	平成23年3月	福井 (中止)
○第13回	コーディネーター会合	平成24年3月	福井
○第14回	コーディネーター会合	平成25年3月	東京
○第15回	コーディネーター会合	平成26年3月	東京

## (3) 検討パネル

平成16年から平成18年の3か年間「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル(第1フェーズ)を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。

その結果を受け、第2フェーズとして平成19年から平成20年の2か年間「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1)原子力発電分野における人材養成、2)原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成20年11月にマニラで開催された第9回 FNCA 大臣級会合では、第3フェーズとして平成21年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

### (開催実績)

#### ■第1フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

○第1回	パネル会合	平成16年10月	東京
○第2回	パネル会合	平成18年 1月	東京
○第3回	パネル会合	平成18年11月	敦賀

## ■第2フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

○第1回 パネル会合 平成19年10月 東京

○第2回 パネル会合 平成20年 9月 東京

## ■第3フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

○第1回 パネル会合 平成21年 7月 東京

○第2回 パネル会合 平成22年 7月 韓国

○第3回 パネル会合 平成23年 7月 インドネシア

○第4回 パネル会合 平成24年 7月 タイ

○第5回 パネル会合 平成25年 8月 東京

○第6回 パネル会合 平成26年 8月 ベトナム

### (4) 個別プロジェクトについての協力活動

FNCAの下で、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化、原子力基盤強化の分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されており、プロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動の取りまとめを実施している。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、今後の協力や実施計画を策定する。

# アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

